

土の液性限界・塑性限界試験

(JIS A 1205, JGS 0141)

Ver. 6. 0 0

「土の含水比試験」報告書作製ソフトは、地盤工学会データシートが画面に表示されますのでデータシートに直接入力するイメージで操作を行えます。

データシート番号6351、6352より構成されます。

画面イメージ

PDF・XMLファイル作成ボタン

JIS A 1205
JGS 0141 土の液性限界・塑性限界試験 (測定)

調査件名 東京都上野公園地盤改良 試験年月日 2004-10-29

試験者 色川恒夫

試料番号(深さ) P-15 (15.15~15.57m)

液性限界試験		P-15 (15.15~15.57m)					
落下回数		47	31	21			
容器 No.		1	2	3			
含水比							
m_A g		1641	1691	1813			
m_B g		930	953	1017			
m_C g		0.00	0.00	0.00			
w %		76.5	77.4	78.3			
落下回数		17	14	11			
容器 No.		4	5	6			
含水比							
m_A g		12.08	19.46	16.61			
m_B g		6.72	10.77	9.11			
m_C g		0.00	0.00	0.00			
w %		79.8	80.7	82.3			
塑性限界試験		P-19 (19.15~19.50m)					
容器 No.		1	2	3			
含水比							
m_A g		8.00	8.48	8.46			
m_B g		5.85	6.19	6.18			
m_C g		0.00	0.00	0.00			
w %		36.8	37.0	36.9			
液性限界 w_L %	<input checked="" type="checkbox"/>	78.4	塑性限界 w_p %	<input checked="" type="checkbox"/>	36.9	塑性指数 I_p	41.5

含水比 (%)

落下回数

流動曲線

$w_L=78.44\%$

特長

1. 画面には、データシートが表示されますので用紙に直接対話するイメージで入力出来ます。用紙の追加及び削除も容易に行え、用紙の切替もタブ選択で瞬時に切り替わります。
2. PDF及びXMLファイル作成は、専用ボタンの選択で出力されます。
3. XMLファイルを読み込み、処理が可能です。
4. 予め容器登録機能に容器番号と質量を登録しますと該当箇所に容器番号の入力で質量が自動転記されます。
5. 流動曲線を修正する事ができます。
6. 「土の液性限界・塑性限界試験」プログラムは、1契約事業所内で複数台コピー使用が可能。

設定機能

1. “調査件名・試験者登録”機能

各土質試験共通ファイル“調査件名・試験者登録”機能に予め調査件名及び試験者を登録して置きますと自動で転記する事ができます。

2. “容器登録”機能

“容器登録”機能に予め容器番号と質量を登録する機能です。

3. “フォント設定”機能

入力する文字の「フォントと大きさ」を任意に設定。

4. “数値精度設定”機能

入力する数値、及び演算結果の数値の精度を設定する機能です。

① “切捨て、四捨五入、丸め”の方式の選択

② “少数点以下の桁数”の設定

5. “フォルダ設定”機能

編集ファイルを格納するフォルダを予め設定する事ができます。

6. “並び替え”機能

作成された試料番号（深さ）に該当する各データをシートの任意の位置に並び替える機能です。

7. “規格番号”選択機能

日本工業規格番号（JIS A 1205）及び地盤工学会基準番号（JGS 0141）を選択する機能。

8. “グラフ修正”機能

流動曲線の含水比を修正する機能です。

9. “グラフ方眼の色”設定

粒径加積曲線の方眼の色と印刷時の濃淡を設定する機能です。

10. “データシート追加・削除”機能

データシート6251, 6252を追加及び削除する機能です。

動作環境

OS : Windows / XP / Vista / 7

メモリ : 1GB以上

Adobe Acrobat は不要

詳細内容は、お問合せください。（担当：大友、清水）

Eメール : info.prduct@a-and-d.co.jp

製造元

株式会社 エイ・アンド・ディー

東京都台東区根岸3-1-19

TEL 03-3873-2141 FAX 03-3871-0804

販売

0601